

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0408	地域元気フェスティバル開催事業
総合計画	分野	地域づくり			
	政策	4-1	地域主体のまちづくり		
	施策	1	地域づくりへの参加促進		
目的	自主的な地域づくり活動への支援（市民参画のきっかけづくり）				
対象	27コミュニティそれぞれの地域に居住する市民				
意図	地域内に居住する市民が互いに知り合い、絆を深めることにより、地域づくりに参画する人を増やす				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○地域元気フェスティバル2014スポーツ交流大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 子供から大人まで参加できる各世代の個人競技及び団体競技の実施 応援賞を設定し、各地区の団結を図り、選手以外の参加者を増やす 地産地消商品の出店販売（C級グルメ）を行い、各地区の取り組みを紹介する 郷土芸能等の発表を行い、大会参加者を増やす 				
○大会終了後のアンケートの実施	参加回数（初めて ○回目等） 今後コミュニティ活動に参加していただけるか				
市民参画の有無	〔 対象外 〕				
市民協働の形態	共催	○ 実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①		計画			
		実績			
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	地域元気フェスティバル参加者数	人	目標	2,100	2,200
			実績	2,210	2,250
②			目標		
			実績		
③			目標		
			実績		
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり	
				目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
<ul style="list-style-type: none"> スポーツ交流大会への各コミュニティ会議における新規参加者数 2名×27チーム=54名 C級グルメ新規出店者数 1団体 		
目的妥当性	公共関与の妥当性	スポーツ、レクリエーション交流事業を開催することにより、住民の絆を深め、まちづくりへの参画意欲を高めることができる。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	企画委員会の検討や、大会終了後のアンケートを実施することにより、改善点を探り、新たな参加者や応援者の増加が見込まれる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	スポーツ交流大会従事者及び競技者は、ボランティアであり、経費は昼食代と交通費（バス代）である。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民であれば、誰でも参加でき、見学できる大会である。実行委員会負担金だけでなく、各コミュニティからの負担もあり、市民総参加型の事業である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
平成23年度までは、各コミュニティ会議がどのような活動を行っているか知ってもらうための事業であったが、24年度からは、コミュニティの活動に参加してもらうきっかけを作る事業として大会を開催した。 地域の人口も減っていることもあり参加者を募る手間や、バス代等資金の負担等の理由から、平成27年度以降は参加が難しいコミュニティもあり、平成27年度以降は開催しないこととした。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0408	地域元気フェスティバル開催事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			1,720		1,720
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		1,720		1,720

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	-------------------------------	-----------------

部経営方針における目標

地域主権のまちづくりを進めます

事業開始の背景・経緯

各コミュニティ会議の取り組みを広く紹介し、地域を元気にすることを目的として元気フェスティバルを開催。平成23年度は、まちづくりをテーマとした演劇を市内4会場で行ったが、平成24年度からスポーツ交流大会を実施している。

事業概要

- 地域元気フェスティバル2014スポーツ交流大会の開催
 - ・子供から大人まで参加できる各世代の個人競技及び団体競技の実施
 - ・応援賞を設定し、各地区の団結を図り、選手以外の参加者を増やす
 - ・地産地消商品の出店販売（C級グルメ）を行い、各地区の取り組みを紹介する
 - ・郷土芸能等の発表を行い、大会参加者を増やす

- 大会終了後のアンケートの実施
 - 参加回数（初めて ○回目等）
 - 今後コミュニティ活動に参加していただけるか

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

地域の人口も減っていることもあり参加者を募る手間や、バス代等資金の負担等の理由から、平成27年度以降は参加が難しいコミュニティもあり、平成27年度以降は開催しないこととした。

担当部署 部名 総合政策部 課名 地域づくり課 担当係長 佐々木 学 内線 454

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

